

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	F003	行事名	第53回東海ハムの祭典	
行事形式	総合イベント	主催団体	第53回東海ハムの祭典実行委員会	
開催日	9月12日 10:00-16:00		開催場所	名古屋市公会堂 (名古屋市昭和区鶴舞)
行事参加者数	1,600名		WebサイトURL	http://www.tokai-jarl.jp/saiten/
行事実施概要・アピール等				
<p>「つたえよう ひろげよう 世界へ未来へ アマチュア無線」をテーマに、愛知県名古屋市の名古屋市公会堂において第53回東海ハムの祭典を開催しました。</p> <p>実行委員会では直前まで対面およびオンラインのどちらでも開催できるように準備してきましたが、新型コロナウイルス感染症に関する来場者・スタッフの安全を確保するため、最終的にZoomウェビナー(Webセミナー)とYouTubeライブ配信を併用したハイブリッド型オンライン同時配信イベントとして開催しました。</p> <p>会場では来場者全員の検温・消毒、連絡先の確認を行い、当初予定していた内容から一部縮小して実施しました。</p> <p>主な実施内容は、オフィシャルガイドブックの配布のほか、JARL愛知県支部と語る会、届け！若人の声サミット、ミニコンサート、式典、講演会(3件)、特別記念局・運用体験臨時局の運用です。</p> <p>特に、届け！若人の声サミットでは、東海地方を中心とした中学、高校、大学の生徒・学生約30名が会場・オンライン上に集合し、素晴らしい発表と活発な意見交換を行いました。</p> <p>また、式典では総務省東海総合通信局無線通信部長の藤田敏広様からご祝辞をいただくとともに、講演会では総務省東海総合通信局電波監理部調査課上席電波監視官の野口徹也様に電波監視に関するご講演をいただき、多くの方々が会場またはオンラインから参加されました。</p> <p>さらに、期間を限って開設される臨時の社団局(運用体験臨時局)8J2YAAでは、無線従事者免許証の有無や運用者の年齢に関係なくアマチュア無線を体験いただきました。</p>				

